



有限会社ヤスダヨーグルトSDGs宣言



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。



SDGsの達成に向けた取り組み

おいしく、健康的で、安心・安全な商品づくり

はっ酵食品総合メーカーとして、安心・安全はもとより、おいしく、健康的な商品づくりのための努力を惜しみません。

【現在の取組み】

- ・製造工程での品質管理体制の徹底 (食品安全チームを中心に、関連部署と連携し対策)
- ・豊富な栄養素を含んだ新鮮な「生乳」にこだわった商品づくり
- ・厳選された素材を使用し、おいしさを追求した商品開発
- ・ISO22000(食品安全マネジメントシステム)取得
- ・お客様からの改善要望を活かした商品開発

【2030年に向けた取組み】

- ・生乳に限らず、発酵技術を活かした腸活をサポートし、健康寿命延伸に寄与する
- ・大学や外部機関と連携し、健康に寄与する機能性商品の開発を目指す



地域と共に歩む企業でありつづける

地域に根ざした企業として、地元安田町(現阿賀野市)の農業や地場産業の発展、雇用の拡大に貢献し続けてまいります。

【現在の取組み】

- ・新潟県産の生乳および地元産原材料を優先的に使用
- ・地元人材の積極的採用
- ・地元小学校の工場見学受け入れ
- ・地元のお祭りへ出店、直売店への観光客誘致

【2030年に向けた取組み】

- ・地場産野菜・果物と乳製品を使ったメニューをテーマとした料理教室の開催
- ・学校給食、子ども食堂等を通じた食育の実践



環境への配慮

事業活動を通じて、食品ロス削減、気候変動対策など、循環型社会・低炭素社会の実現に貢献してまいります。

【現在の取組み】

- ・廃棄物(ホエイ)を再利用した化粧品開発
- ・規格外商品の社内販売による廃棄物の削減
- ・プラスチックストローをバイオマスプラスチック製に切り替え
- ・照明のLED化、書類の電子化による紙資源の使用量削減

【2030年に向けた取組み】

- ・脱プラスチック容器の導入を目指す(減量、バイオマスプラスチックを含む)
- ・製造工程でロスになるヨーグルト、ホエイを無駄なく再利用できる商品の開発



安心して働ける職場環境づくり

採用や人事評価の際に、性別などによる差別を行わず、ワークライフバランスに配慮した、安全で働きやすい職場環境を整備してまいります。

【現在の取組み】

- ・「教育訓練計画」を策定し、職務・役割に応じた研修の実施
- ・職場の安全と健康維持を目的に労働安全衛生委員会を定例開催
- ・ハラスメント相談窓口の設置
- ・産休、育休制度の整備
- ・定年後の再雇用制度

【2030年に向けた取組み】

- ・同一労働・同一賃金の導入を検討
- ・持続可能な企業を目指し、SDGs達成に向けた取組みを強化し、進捗状況の定期報告を実施



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までに達成すべき国際目標です。「誰一人取り残さない」をスローガンに、貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などの社会が抱える様々な問題を解決し、世界全体で明るい未来を目指すための17のゴールと169のターゲットで構成されています。